

実践セミナーから生まれた3つのまちづくり計画

湯沢びじんプロジェクト

作成メンバー：川井 寛 / 小松田宏 / 阿部幸樹 / 菅 善徳 / 高橋あきよ / 石川隆一
アシスタント：尾崎美幸

地域住民の郷土愛を育み誰もが誇りを持てるまちにすることを目的に、「湯沢は小野小町発祥の地」ということから発想を得た『湯沢びじんプロジェクト』を提案しました。「それを見れば誰もが湯沢をイメージできる」ロゴを作成し、湯沢のPRに活用するという内容です。住民からデザインを公募し、他機関と協力しながら活用方法を考え展開します。多くの住民を巻き込みながら地域を活性化する一大プロジェクトとなる事が期待されます。



計画のポイント

- ・巻き込みたい各機関の役割を明確にし協力を得やすくします。
- ・デザインの認定基準を明確にし広範囲で活用しやすくします。
- ・ロゴの運用内容を明確にし、その内容を地域の内外へPRします。
- ・他事業と組み合わせ相乗効果を生む工夫をします。
- ・ロゴを添えた地域の情報をネットやSNSなどを活用し発信します。



共助の村づくりプロジェクト

作成メンバー：遠田喜代志 / 藤原久和 / 村上博幸 / 長瀬清之 / 斎藤まどか / 菅勇一郎 / アシスタント：八嶋英樹

「山村の現状を何とかしなければいけない」というメンバーの思いから始まったプロジェクトです。山村の多い地域では、近年は高齢者の一人暮らしが目立ち、買物、通院、雪の処理などで大変な苦勞をされている様子がうかがえます。山村ならではの資源を活用し、住民同士の親睦を深め、地元の温泉で日帰り入浴などを楽しみながら仲良く協力しあって暮らせないかと考え、「一人になっても安心安全、楽しく支えあって暮らせる村づくり」という理念にたどり着きました。



計画のポイント

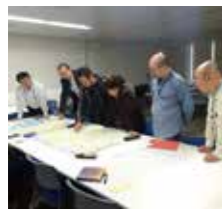
- ・地域の会合などで、老若男女関係なく本音で話せる環境をつくります。
- ・共通の目標をもって、一緒に活動できる地域をめざします。
- ・楽しみやお金、生きがいなど、共通の目標や喜びをつくります。
- ・特定の人に負担が集中しないような、助け合いの体制をつくります。
- ・まずは地域住民同士の良好な関係づくりからはじめます。



眠っている母ちゃんを揺り起こそうプロジェクト

作成メンバー：佐々木透 / 齊藤利男 / 高嶋江美子 / 戸部緑 / 加藤信悦 / 柿崎信雄 / 寺田純二 / 山内今日子 / アシスタント：奥ちひろ

地域には野菜・花・漬物づくり・手芸などの得意技を持っている母ちゃんがたくさんいますが、うまく生かされていない現状があります。また、母ちゃんは育児や介護、家事などでまとまった時間が作れず、しっかりとした収入が得られていません。そこで、母ちゃんの家事等の負担を地域内で分け合う仕組みをつくり、得意技を小さな収入につなげる場をつくりたい。元気な母ちゃんを増やし、地域に活気を生み出すことをねらいとしています。



計画のポイント

- ・母ちゃんが楽しみや生きがいを感じられる場にします。
- ・得意技を持ち寄る「お茶っこ会」を定期的に開きます。
- ・会では、無理なく、ワンコインで販売する方法を考えます。
- ・会では、家事等の負担を地域で助け合う仕組みを考えます。
- ・軌道に乗ったら、収入を増やす工夫をしていきます。



平成30年(2018年)3月1日発行

【お問い合わせ先】

湯沢市協働事業推進課

TEL 0183-55-8033 (直通)

Eメール: kyodo@city.yuzawa.lg.jp



企画・編集 有限会社オム・クリエイション (湯沢市より受託)

編集後記

湯沢市は優れた資源の多いまちです。しかし新しくまちづくりを行う上では、そうした既に磨かれている資源のみならず、まだ発掘されていない(住民が気づいていない資源)を探ることから始めることが大切です。

いいまちとは、「資源があるまち」ではなく「資源の独自の活用法」があるかどうかで決まります。それは湯沢特有の風土に育まれたオリジナルなスタイルを持っているべきなのです。

さあ、みなさんも楽しくまちづくりを始めましょう～! <S.O>

まちづくりをコーディネートする人材を育成する

平成29年度

湯沢市まちづくり人材育成セミナー

開催報告



平成30年(2018年)3月1日発行

1年間を通して段階的にまちづくりの人材育成を行いました

湯沢市でも最近まちづくりが活発に行われるようになってきました。それに伴って湯沢市では、まちづくりの考え方や技術をもっと専門的に学ぶ機会を設ける必要があると考え、昨年からまちづくり人材育成セミナーを開催してきました。ここでは今年度のセミナーの概要を皆様にご報告いたします。



開催目的

1. 地域自治組織に対して、まちづくりを指導・アドバイスできる人材(コーディネーター)を養成する。
2. 地域のリーダー・プロジェクトリーダーとなる人材を育成する。

講師&アシスタント



大滝 聡氏 (新潟県)
総務省地域力創造アドバイザー
NPO 法人 まちづくり学校 代表理事 (校長)
NPO 法人 都岐沙羅パートナーズセンター 理事
有限会社オム・クリエイション 取締役

アシスタント

奥 ちひろ氏 (秋田県南 NPO センター)
八嶋 英樹氏 (秋田県南 NPO センター)
尾崎 美幸氏 (NPO 法人 まちづくり学校)



日程と内容

初級セミナー まちづくりの基礎を習得する

2p

まちづくりにおける基本的な考え方やスキルを、実際のまち(岩崎地区)を歩いたりしながら学びました。

★開催日：7月1日(土)～7月2日(日) 7/1(土) 10:00～17:00、7/2(日) 9:00～16:30

★内容：まちづくりの考え方、地域資源の捉え方、取材の方法、まちづくりアイデアの抽出、評価、等

実践セミナー 実際にまちづくり計画を作成する

3～4p

初級セミナーで学んだことなどを生かすため、具体的な3つのまちづくりテーマを決め、それぞれのグループが理念設定から計画編成まで6つのステップを順にクリアしながら、まちづくり計画を完成させました。

【開催期間】7月29日(土)～11月25日(土) ※この期間中に3つのグループは自主的に集まって作業を精力的に行いました。

全体研修会

- 第1回：7月29日(スタートアップ研修)
【内容】まちづくりアイデア抽出、まちづくり計画の作り方
- 第2回：9月23日(中間報告会)
【内容】まちづくり計画の中間報告、悩みや課題を解決するための意見交換
- 第3回：11月25日(成果発表会)
【内容】まちづくり計画の発表、評価、全体をふりかえる意見交換



成果発表会後、市長より受講生に「受講証明書」が授与されました。

初級セミナー

日時：7/1(土) 10:00~17:00、7/2(日) 9:00~16:30
会場：湯沢市役所（フィールドワーク：岩崎地区）



7/1-2
(土日)

講座のねらい

まちづくりの基礎を習得する

初級セミナーは、まちづくりを行う上での基本となる考え方やスキルを学ぶために企画実施されました。

特に大切なことは、実際のまちの中から「まちづくりの種」ともいえる資源を見つけ、そこからまちづくりを発想していくことです。

今回は岩崎地区のまちあるきを通して、まちの宝物をたくさん探すトレーニングを行い、地域資源の大切さを感じていただきました。



講座のメニュー

- ・まちづくりの考え方を学ぶ
- ・地域資源の捉え方を知る
- ・取材の方法を体験する
- ・アイデアの出し方・まとめ方を学ぶ
- ・アイデアから事業化の道筋を考える
- ・評価の方法を学ぶ



受講生の声（講座後のアンケートより抜粋）

今回の講座でどのような気づきがありましたか？

- ・まちづくりをする際に、課題を考えるよりも、資源を考えるほうが前向きになる。
- ・まちづくりを進めるに当たり、地域住民が主体となり物事を進める必要性と、行政及び専門知識を持った方々の協力が重要である事。
- ・まちづくりの理念について、自分達だけで、他人に頼らず行うのではなく、みんなの参加で行うことを再認識出来た。

講座を通じてあなたが嬉しかったことは何ですか？

- ・多くの方々と知り合いになれ良かった。
- ・岩崎を見る目が変わった。コーディネートのむずかしさを実感した（勉強不足だねー）。思い知らされました。

- ・普段見ないところをじっくり時間をかけて見る事ができた。物だけでなく、地域の人の思いにふれることができた。

講座を通じてあなたが残念に思ったことは何ですか？

- ・ついつい自分がコーディネーターになるということを忘れてしまうこと。
- ・地域代表の30代、40代、50代の男性、女性の参加があってもいいのではないのでしょうか？

その他、気づいたことなど

- ・是非、現場で使いたいのでコーディネーター側で参加したいです（学びたい）。
- ・人生の大半をマイナス思考で生活してきたんだと感じた。やはり皆さんあつての自分なので、皆さんに感謝し、生活していきたい。前向きに、夢を持って生きていきたい。

実践セミナー

日時：7/29(土)~11/25(土) ※3回の全体研修会の他、自主活動を展開
会場：秋の宮山荘、湯沢市役所

全3回の全体研修会

7/29(土) 【スタートアップ】

9/23(土・祝) 【中間報告会】

11/25(土) 【成果報告会】

講座のねらい

アイデアをまちづくり計画にするための技術や段取りを学ぶ

実践セミナーは、初級セミナーやスタートアップ研修で出されたまちづくりアイデアを3つに絞り込み、それを約4ヶ月の間でまちづくり計画に仕上げるという内容で進めました。

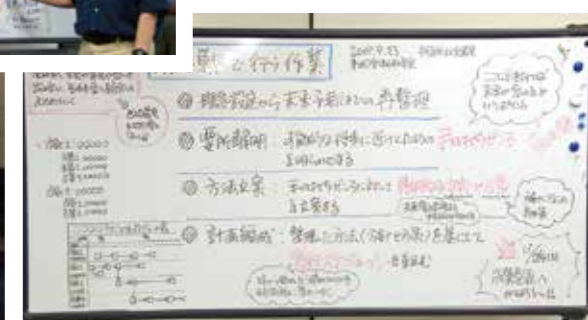
3つのグループは、「理念設定」から「計画編成」まで6つの局面を順に辿りながら、全体研修会以外に自主的に集まって、それぞれが協力しながら、独自のまちづくり計画を作成しました。

11/25の全体研修会では、そのまちづくり計画を市長が見つめる中で発表し、全員が成果を確認しました（3つのまちづくりプランは4pにその概要を掲載しています）。



講座のメニュー

- ・まちづくり計画の作り方を学ぶ
- ・プロセスデザインの手法を学ぶ
- ・協働作業の醍醐味を味わう
- ・悩みや課題の共有を行う
- ・プレゼンテーションの実際を味わう
- ・評価の方法やその大切さを学ぶ



受講生の声（講座後のアンケートより抜粋）

今回の講座でどのような気づきがありましたか？

- ・地域づくり計画の必要性について学べて良かった。
- ・場数を踏んで、実際に生かせるようになりたい。
- ・どれだけ学んでも行動しなければ意味がないと強く思った。
- ・原点にかえて改めて地域の誇れる長所の再発見に努めた。
- ・3グループの皆さん、前向きで良かったです。
- ・最終的にはまとめるチーム力に改めて感謝。

講座を通じてあなたが嬉しかったことは何ですか？

- ・グループでのふり回り時に出たたくさんの意見を全体に発表した時、「上手にまとめられた」とほめられたこと。自分がグループの役に立てたと思った瞬間でした。

- ・このセミナーに参加したこと（全て良かった）。セミナーの中でいろいろな人と話できて良かったです。

講座を通じてあなたが残念に思ったことは何ですか？

- ・自分の参加したプロジェクトの中で、湯沢のまちのことを再認識したのですが、ちょっと不足（情報等）している点（もっと湯沢を知っていかないと考えています）。
- ・地域でがんばっている若い世代をもっと巻き込んでほしい。

その他、気づいたことなど

- ・今回のセミナーの中身を、町内の活動に生かせたらと思っています。
- ・想いが共感できるメンバーが多く、今後横の連携と情報共有しながら、地域、町内、自治組織で取り組んでいきます。大変ありがとうございました。